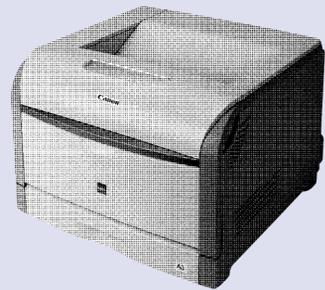


かんたんメンテナンスガイド



かんたんメンテナンスガイドについて

かんたんメンテナンスガイドには、本プリンタのメンテナンス方法の概要を紹介しています。ただし、プリンタを取り扱うための注意事項や制限事項は記載されていませんので、必ずユーザーガイドもあわせてお読みください。



FT5-0466 (000)

XX2006XXXX

©CANON INC. 2006

PRINTED IN JAPAN OR CHINA

ユーザーズガイド (PDF) の見かた

ユーザーズガイドは付属のCD-ROM (LBP5600SE User Software) にPDFファイルで収められています。PDF形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Readerが必要です。ご使用のシステムにAdobe Reader/Adobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、アドビシステム社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると次の画面 (CD-ROM Setup) が表示されます。※すでにCD-ROMがセットされている場合は、いったんCD-ROMを取り出してもう一度セットします。



ユーザーズガイドを見るには、ここをクリックし、表示された画面で「ユーザーズガイド」をクリックします。

- CD-ROMをセットしてもCD-ROM Setupが表示されないときは・・・
- CD-ROM Setupが表示されない場合は、[スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行]を選択して「D:\Japanese\CANON\CDROMU.exe」と入力し、[OK]をクリックします。(ここでは、CD-ROMドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROMドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。)

各部の名称とはたらき

ランプ
プリンタの状態を示すランプです。

用紙ガイド
手差しトレイにセットした用紙の幅に合わせてガイドの位置を調整します。種別別マークが付いており、このマークまで用紙をセットできます。

延長トレイ
A3サイズの用紙などの長いサイズの用紙をセットするときに、用紙が垂れ下がらないように開けます。

補助トレイ
B4サイズの用紙などの大きいサイズの用紙をセットするときに、用紙が垂れ下がらないように引き出します。

手差しトレイ
用紙を手差しトレイから給紙するとき、用紙をセットします。

用紙サイズ表示
給紙カセットにセットした用紙サイズの用紙サイズ表示板を差し込みます。

給紙カセット
最大250枚までのA3、B4、A4、B5、A5、レジャー (11×17)、リーガル、レター、エクゼクティブサイズの用紙がセットできます。

定着器 (倒した状態)
トナーを用紙に定着させる装置です。

トナーカバー
トナーカートリッジを交換するときに、ここを開けて作業します。

上カバー/排紙トレイ
上カバーは、ドラムカートリッジを交換するときやプリンタ内部を清掃するときに開けて作業します (紙づまりを除去するときは、開ける必要はありません)。上カバーは、前カバーを開けて定着器を手前に倒してから、ロック解除ボタンを押して開けます。排紙トレイは、印刷された用紙が下向き (フェースダウン) で排紙されます。

前カバー
定着器の交換や紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。

排気口
プリンタ内部冷却用の排気口です。

電源スイッチ
プリンタの電源をオン/オフします。

運搬用取っ手
プリンタを運ぶときは、ここを持ちます。

上カバー (開いた状態)
ドラムカートリッジを交換するときやプリンタ内部を清掃するときに、ここを開けて作業します (紙づまりを除去するときは、開ける必要はありません)。上カバーは、前カバーを開けて定着器を手前に倒してから、ロック解除ボタンを押して開けます。

ロック解除ボタン
上カバーを開けるときの、このボタンを押します。

ITB (Intermediate Transfer Belt: 中間転写ベルト) ユニット
4色のトナーを用紙に転写する装置です。

カセット保護カバー
給紙カセットにゴミやホコリが入らないようにするためのカバーです。給紙カセットを延長して、A3やB4サイズなど大きな用紙をセットすると、自動的にカセット保護カバーが上がります。

廃トナーカバー
廃トナー容器の交換をするときに、ここを開けて作業します。

運搬用取っ手
プリンタを運ぶときは、ここを持ちます。

排気口
プリンタ内部冷却用の排気口です。

定格銘板ラベル
プリンタ識別のためのシリアルナンバー (SerialNo.) が記載されています。サービスや修理を受けるときに必要になります。明示されている電流値 (10A) は、平均消費電流です。

アース線端子
付属のアース線をこの端子に接続します。

後カバー
オプションのネットワークボードを取り付けるときやUSBケーブルを接続するときに、ここを開けて作業します。

電源コード差し込み口
付属の電源コードをここに接続します。

ランプについて

- 印刷可ランプ (青色)**
点灯: 印刷可能な状態、スリープ中、キャリブレーション中
- エラーランプ (赤色)**
点灯: エラーが発生している状態。点滅: エラーが発生していて印刷できない状態。
- 用紙ランプ (赤色)**
点滅: 用紙なしの状態、または印刷するサイズの用紙がセットされていない状態。
- エラーランプ (赤色)**
点灯: サービスコールが発生している状態。点滅: エラーが発生していて印刷できない状態。
- 印刷可ランプ (青色)**
点灯: 印刷可能な状態、スリープ中、キャリブレーション中
- 点滅:** 印刷中、ウォームアップ中、キャリブレーション中一時停止中など、プリンタが何らかの処理または動作を行っている状態。

トナーカートリッジの交換手順

トナーカートリッジが寿命になるとプリンタステータスウィンドウに次のメッセージが表示されます。表示された色のトナーカートリッジを交換してください。

例) ブラックのトナーカートリッジが寿命になった場合



交換の際は、必ず本プリンタ専用のトナーカートリッジを使用してください。

機種名	対応するキヤノン純正トナーカートリッジ
LBP5600SE	Toner Cartridge 502 Black Toner Cartridge 502 Yellow Toner Cartridge 502 Magenta Toner Cartridge 502 Cyan

* 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

Step1 交換するトナーカートリッジを取り出す

- トナーカバーを開ける。
- 交換する色のトナーカートリッジのロック解除レバーを「①」の位置まで倒して、

- トナーカートリッジを本体から取り出す。

Point
ロック解除レバーの丸マークをトナーカートリッジの丸マークに合わせます。

トナーカートリッジが取り外せない場合は、ロック解除レバーの丸マークとトナーカートリッジの丸マークが合っているかを確認してください。無理に取り外すと故障の原因になります。

Step2 トナーカートリッジを準備する

- トナーカートリッジを箱から取り出したあと、保護パックから取り出す。
- 図のようにトナーカートリッジの取っ手部分を下側にして、上下に往復10回返って、内部のトナーを均一にします。

Point
※以下の部分には触れないように気を付けて取り扱ってください。

シャッター部

Step3 トナーカートリッジを取り付ける

- 図のように取っ手を持って、トナーカートリッジを本体に挿入し①、止まるまでゆっくりと押し込む②。

Point
ロック解除レバーの三角マークをトナーカートリッジの三角マークに合わせます。

トナーカバーを閉める。

Point
トナーカートリッジとトナーカバーにある文字の向きが合うように取り付けます。

※「トナーカートリッジが必要です」のメッセージが表示されていない状態で、トナーカートリッジを交換した場合は、ユーザーズガイド「トナーカートリッジのカウンタをリセットする」を参照してトナーカートリッジのカウンタをリセットしてください。

※トナーカートリッジをセットしても、「トナーカートリッジの交換が必要です」が消えるまで数秒時間がかかります。「トナーカートリッジの交換が必要」が消えない場合は、交換したトナーカートリッジを取り出して、取っ手部分を下側にして、再度上下に強く振って、内部のトナーを均一にしたらから取り付けてください。

廃トナー容器の交換手順

廃トナー容器がいっぱいになるとプリンタステータスウィンドウに次のメッセージが表示されます。廃トナー容器を交換してください。

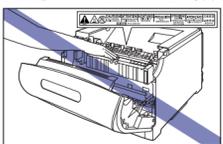


交換の際は、必ず本プリンタ専用の廃トナー容器を使用してください。

機種名	対応するキヤノン純正廃トナー容器
LBP5600SE	廃トナーボックスWT-98B

* 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。定着器周辺には触れないように注意してください。やけどの原因になることがあ



Step1 廃トナー容器を取り出す

- 前カバーを開ける。
- 廃トナーカバーの取っ手を持って、廃トナーカバーを開ける。

- 廃トナー容器を取り出す。
- 付属のふたを廃トナー容器に取り付ける。

Step2 廃トナー容器を取り付ける

- 新しい廃トナー容器を箱から取り出したあと、保護袋から取り出す。
- 廃トナー容器を取り付ける。
- 廃トナーカバーの取っ手を持って、廃トナーカバーを閉める。

- 図のように、両手で前カバーに手をそえて①、両手で前カバーを押して閉める②。

※前カバーは、図のように前カバーの前面を押して閉めてください。前カバー左右のレバー部を持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

お問い合わせ先

■消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品、オプション製品は、お買い上げ先の販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にお問い合わせください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

■修理サービスご相談窓口

製品の相談は、お買い上げ先の販売店にご相談ください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

■お客様相談センター (全国共通番号)

050-555-90061

【受付時間】 <平日> 9:00~20:00 <土日祝日> 10:00~17:00
(1/1~3は休ませてください)

※上記番号をご利用いただけない方は03-4321-9627をご利用ください。

※IP電話をご利用の場合、フロンティアのサービスによってはつながりません。

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

■Canonホームページ

<http://canon.jp>

プリントの色味が変わったときには

プリントした色味が以前と変わってしまったときには、プリンタのキャリブレーションを行ってください。プリンタのキャリブレーションは、プリンタステータスウィンドウから行います。

キャリブレーションの手順

- 【プリンタとFAX】または【プリンタ】フォルダを開く。
Windows 98/Me/2000の場合：
[スタート]メニューから[設定] → [プリンタ]を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003の場合：
[スタート]メニューから[プリンタとFAX]の順でクリックします。
Windows XP Home Editionの場合：
[スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] → [プリンタとFAX]の順でクリックします。
- 【Canon LBP5600】アイコンを選択し、【ファイル】メニューから【印刷設定】を選択する。
Windows 98/Meの場合は、【プロパティ】を選択する。
- 【ページ設定】 ページを表示して、【OK】をクリックする。
プリンタステータスウィンドウが表示されます。
- 【オプション】メニューから【ユーティリティ】 → 【キャリブレーション】を選択する。
確認のメッセージが表示されます。
- 【OK】をクリックする。
キャリブレーションがはじまり、印刷可ランプが点滅します。約60秒かかります。しばらくお待ちください。

ドラムカートリッジの交換手順

ドラムカートリッジが寿命になるとプリンタステータスウィンドウに次のメッセージが表示されます。表示された色のドラムカートリッジを交換してください。

例) ブラックのドラムカートリッジが寿命になった場合

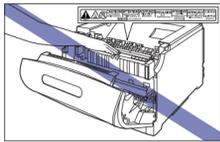


交換の際は、必ず本プリンタ専用のドラムカートリッジを使用してください。

機種名	対応するキヤノン純正ドラムカートリッジ
LBP5600SE	Drum Cartridge 502 Black Drum Cartridge 502 Yellow Drum Cartridge 502 Magenta Drum Cartridge 502 Cyan

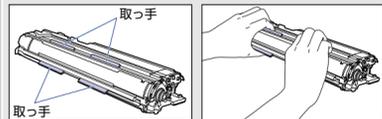
* 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります

プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。定着器周辺には触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。



Point

※ドラムカートリッジを取り扱う際は、図のように青色の取っ手を持って正しく取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。

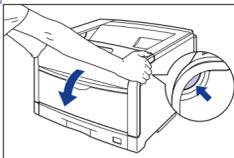


ドラムカートリッジは、保護袋に入っています。ドラムカートリッジをセットする準備ができるまで、保護袋から取り出さないでください。

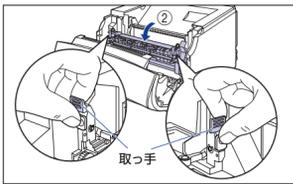
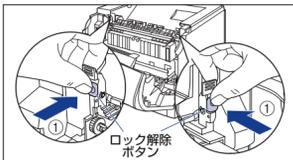
Step1

交換するドラムカートリッジを取り出す

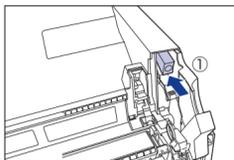
1 前カバーを開ける。



2 定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら①、取っ手を持って定着器を手前に倒す②。

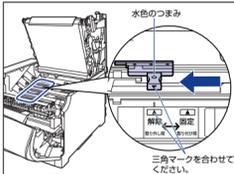


3 上カバーの青色のロック解除ボタンを押して①、レバーを持って上カバーを開ける②。

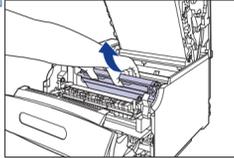


ドラムカートリッジは、奥からイエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの順に取り付けられています。

4 交換する色のドラムカートリッジの水色のつまみを「解除」の位置までスライドさせて、ロックを解除します。



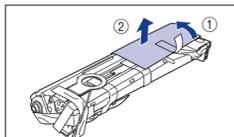
5 ドラムカートリッジを取り出す。



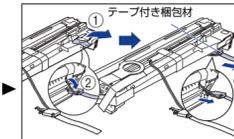
Step2

ドラムカートリッジを準備する

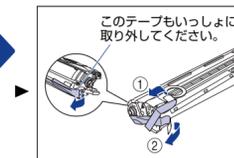
1 ドラムカートリッジを箱から取り出したあと、保護袋から取り出す。



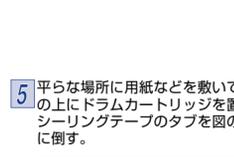
用紙はテープをはがしてから①、取り外します②。



テープ付き梱包材は、テープを取り外し①、梱包材も同時に取り外します。梱包材が取り外せない場合は、倒してから②、取り外します③。



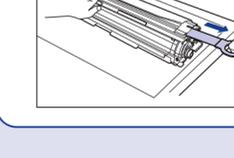
このテープもいっしょに取り外してください。



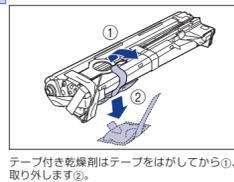
テープを①、②の順に取り外します。②で取り外すテープは、テープの後端にもう1枚のテープが貼り付いているので、いっしょに取り外します。



この部分を手で押さえてください。



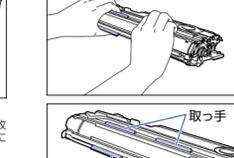
3 図の位置にあるテープ、タグ、梱包材、乾燥剤を取り外す。



テープ付き乾燥剤はテープをはがしてから①、取り外します②。



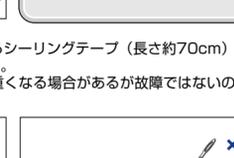
テープ付き梱包材は、テープをはがしてから①、梱包材を取り外します。梱包材が取り外せない場合は、倒してから②、取り外します③。



この部分を手で押さえてください。



ドラムカートリッジの青色の取っ手をもちます。ドラムカートリッジを図のように往復10~12回振りまわります。

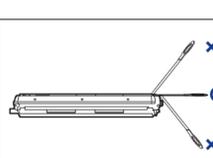


Point

※シーリングテープの引き出し口付近を手で押さえないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。



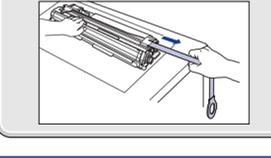
※ドラム保護シャッターを手で押さえないでください。



ドラムカートリッジを置くときは、ドラムカートリッジの底面が机などを傷けないために、用紙などをドラムカートリッジの下に敷いてください。

Point

シーリングテープのタブを持って引き抜けない場合は、図のようにテープ部分を持って引き抜いてください。ただし、シーリングテープには、トナーが付着していますので、トナーで手が汚れることがあります。

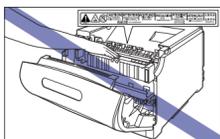


紙づまりの処理手順

プリンタに紙が詰まるとプリンタステータスウィンドウに次のメッセージが表示されます。次の手順にしたがって、つまっている紙を取り除いてください。



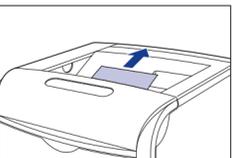
プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。定着器周辺には触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。



Step1

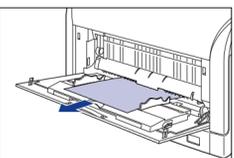
給紙部と排紙トレイの用紙を取り除く

1 排紙トレイをチェックし、用紙がつまっていたら、取り除く。



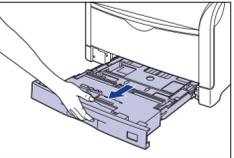
※用紙が簡単に取り除けない場合は、次の手順へ

2 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイにつまっている用紙を取り除き、手差しトレイを閉める。



※用紙が簡単に取り除けない場合は、次の手順へ

3 給紙力セットを引き出す。



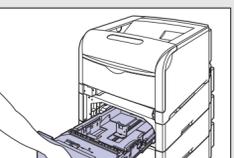
4 用紙を押し下げるように、つまっている用紙を取り除く。



※用紙が簡単に取り除けない場合は、(Step2)へ

Point

ペーパーフィードが装着されている場合は、上段からすべての給紙力セットを引き出し、用紙を押し下げるように、つまっている用紙を取り除いてください。

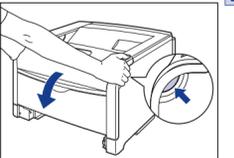


※用紙が簡単に取り除けない場合は、(Step2)へ

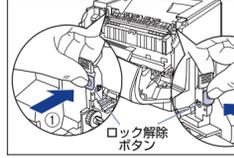
Step2

プリンタ内部の用紙を取り除く

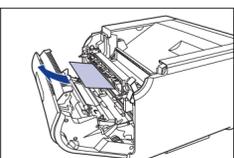
1 前カバーを開ける。



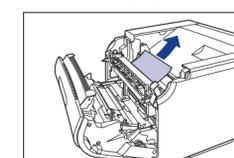
2 定着器の左右にある緑色のロック解除ボタンを押しながら①、取っ手を持って定着器を手前に倒す②。



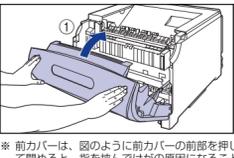
3 定着器の手前側から、つまっている用紙を取り除く。



4 定着器の奥側から、つまっている用紙をゆっくりと強く引いて取り除く。

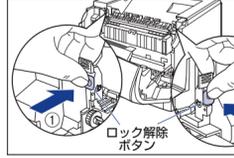


7 図のように、両手で前カバーに手をそえて①、両手で前カバーを押して閉める②。

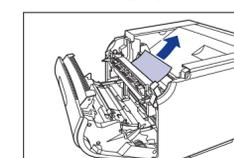


※前カバーは、図のように前カバーの前面を押して閉めてください。前カバー左右のレバーを持って閉めると、指を挟んでけがの原因になることがあります。

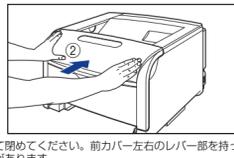
5 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し①、左右の取っ手を図のように押す②。



6 定着器の下側につまっている用紙を取り除く。



8 給紙力セットをプリンタ本体、ペーパーフィードにセットします。

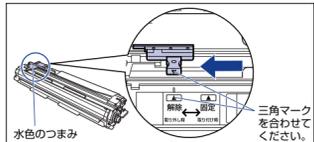


※手順通りに紙づまりの除去を行っても、前カバー内部で紙づまりが起こっていることを示すメッセージが消えないときは、定着器の下側に用紙が残っている可能性があります。手順6にしたがって、ダイヤルをよく回して、つまっている用紙を送り出して取り除いてください。

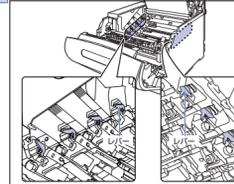
Step3

ドラムカートリッジを取り付ける

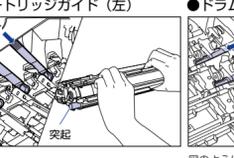
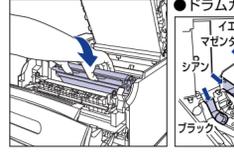
1 ドラムカートリッジをセットする前に、図のように水色のつまみの三角マークとラベルの「解除」の三角マークの位置を同じ位置に合わせる。



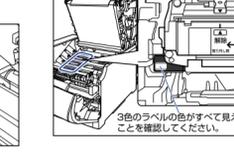
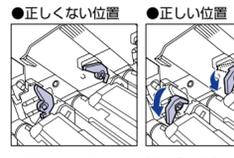
2 左右のドラムカートリッジガイド付近にあるレバーが、図のように正しい位置にあるか確認する。



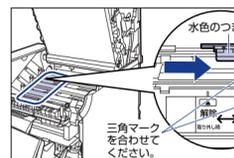
3 ドラムカートリッジを本体に取り付ける。



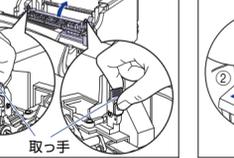
4 左右のドラムカートリッジガイド付近にあるレバーが、図のように正しい位置にあるか確認する。



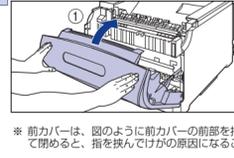
6 取り付けした色のドラムカートリッジの水色のつまみを「固定」の位置までスライドさせて、ドラムカートリッジを固定する。



7 取っ手を持って定着器を元の位置に戻し①、左右の取っ手を図のように押す②。



9 図のように、両手で前カバーに手をそえて①、両手で前カバーを押して閉める②。



Point

両面印刷して紙づまりが起こった場合は、図のように前カバー内側の取っ手を持って両面搬送部のカバーを開け①、つまっている用紙を取り除いてください②。

